

道の駅おおとう桜街道ふれあい広場 こどもはうす



ふれあい広場

約18,000㎡の敷地を有す、道の駅おおとう桜街道の「ふれあい広場」。多目的芝生広場を中心に砂場や噴水、全長約200mの電動ゴーカート場、高齢者向けの散歩道や健康遊具など、筑豊地区最大級の遊具数を誇る。



外観

ふれあい広場内に建つ、全天候型屋内遊戯施設「こどもはうす」。サーカスのテントや町花である椿の花弁からイメージを膨らませた、五角形が連なる特徴的な外観となっている。



こどもはうす

0歳から12歳までのお子様の成長段階に応じて利用できるよう「ベビーエリア」「ロールプレイエリア」「アクティブエリア」で構成。各エリアには、興味や意欲を引き出す遊具やしかけを揃えている。

トイレ図面

隣接する子育て支援センターからもアプローチ可能な双方向レイアウト。すべて個室完結型の男女共用トイレとし、空いていれば男女問わずだれでも使えることから、スムーズな利用ができる。



水まわりの特長

施設の特長

「道の駅おおとう桜街道」は、「家族が一日中楽しめる道の駅」をコンセプトとする西日本最大級の道の駅、年間120万人が訪れる観光名所となっている。2025（令和7）年、その施設のひとつとして、新しくオープンした「ふれあい広場」は、敷地面積約18,000㎡を有する、新しいスタイルの公園。「従来の公園よりも利用者の間口をさらに広げた新しい交流拠点の場」として、幅広い年齢のお子様が進め、多世代間の交流促進も目指している。なかでも「こどもはうす」は、成長段階に応じて3つのエリアを設け、0歳から12歳まで幅広い年齢層の子どもが遊べる全天候型屋内遊戯施設となっている。ふれあい広場の誕生により、道の駅は、さらにその魅力を向上させ、だれもが一日中楽しめる施設となった。

トイレの特長

「こどもはうす」の外観は、「遊園地のような楽しい施設」をコンセプトに、サーカスのテントや町花である椿の花弁からイメージを膨らませた、五角形が連なる特徴的なデザイン。利用しやすい位置にレイアウトされたトイレは、インクルーシブの視点から、異性のお子様の見守りや介助などもしやすく、お子様連れの方が使いやすいよう、すべて個室完結型の男女共用トイレとした。設備面では、床面の清掃がしやすい壁掛大便器セット・フラッシュタンク式や壁掛型の自動洗浄小便器、ノズルをきれいに保つことができる「きれい除菌水」機能を備えたウォシュレットアプリコットPと乾電池交換や電源工事が不要なエコリモンなどを採用。快適性はもとより、衛生面や維持管理のしやすさにも配慮している。

建築概要

名称	道の駅おおとう桜街道 ふれあい広場 こどもはうす
所在地	福岡県田川郡大任町今任原1339
施主	大任町
運営	道の駅おおとう桜街道
設計	株式会社石本建築事務所
施工	建築 溝江建設株式会社 設備 大成温調株式会社
竣工年月	2025年3月
敷地面積	18,613.35㎡
建築面積	837.84㎡（キャノピー含む）
延床面積	630.07㎡
構造・階数	鉄骨造・地上1階

おもなTOTO使用機器

壁掛大便器セット・フラッシュタンク式:UAXC3CS1
ウォシュレット アプリコットP（擬音装置「音姫」付きエコリモン）:TCF5831AUY
棚付二連紙巻器:YH701／チャームボックス（汚物入れ）:YKB104
自動洗浄小便器:UFS900WR／ツインデッキ（ボウル一体タイプ）:MKWF
壁掛ハイバック洗面器:LSG125AAR／壁掛手洗器:LSW870AP
幼児用大便器:CS300B+S300BK／フットペダルボード:YKA41R
パブリック用手すり:T112CL10、T112CL11、T112HK7R



トイレ入口



木をふんだんに使用し、温かさと清潔さを感じさせる明るい空間。トイレは、建物入口から近く、わかりやすい場所に配置されている。



手洗いコーナー

トイレに入らずに使用できるよう、専用の手洗いコーナーを用意。お子様の利用が多いことから、あふれ面を低くした手洗いコーナーも設置。ランダムに取り付けられた丸形鏡が、楽しい雰囲気を出している。



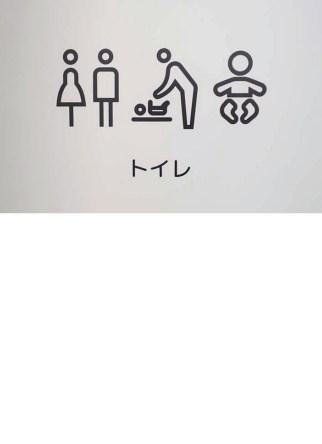
トイレ全体・手すり付個室



トイレは、仕様にバリエーションを持たせた個室完結型の男女共用トイレとし、扉は操作がしやすい内外両方向に開く折戸を採用。さまざまな利用者に配慮し、ウォシュレットアプリコットPやL型手すりも完備している。



お子様連れ配慮個室



お子様連れに配慮した個室をはじめ、扉には各個室に設置している設備がわかるオリジナルのピクトグラムを掲示。手洗器は、衛生面に配慮して、非接触で手洗いができる自動水栓を設置している。



男性配慮個室



男児や成人男性などの利用を想定して、小便器を設置した個室。床面の清掃性に配慮し、大便器と小便器ともに壁掛式を採用。各個室ごとに色やデザインを変えた壁面のタイルが、空間を彩るアクセントとなっている。



多機能トイレ



多機能トイレは、施設の特性からお子様やお子様連れの利用をメインに考え、幼児用大便器やフットペダルボードなどを完備。壁掛ハイバック洗面器には、冬でも温かいお湯が使えるよう、電気温水器を備えている。